

市会事務局決算の概要

1 決算総括

平成 29 年度は、近年の地方分権・地方創生の進展により、市会の役割が増大する中で、市政における課題の解決を目指すことを目的とした、議員による海外行政調査を実施するとともに、効率的な議会運営及び働き方改革推進の観点から、予算・決算特別委員会における局別質疑の審議日程の見直しを行った。

また、これまでから積極的に展開している「見える市会」「伝わる市会」の実現に向け、政務活動費の運用に関する基本指針等の見直しのほか、インターネット議会中継における手話通訳の導入や市会広報ポスターの市バス・地下鉄への掲出期間の延長を行うなど、議員活動の透明性の確保や、更なる広報機能の充実を図った。

今後とも、二元代表制の一翼を担う京都市会が市民の皆様からの負託に応え、市民生活の向上と京都市の発展に貢献できるよう、事務局機能を確実に発揮していく。

2 重点取組の実績

(1) 円滑な議会運営及び活発な議会活動の支援

取組名	実績
円滑な議会運営の支援	・各会派及び執行機関との連絡調整等を確実にを行い、円滑な議会運営に努めた。
海外行政調査	・市政における課題の解決を目指すことを目的として実施した議員による海外行政調査をサポート（平成 29 年 9 月 3 日～10 日 調査実施）
予算・決算特別委員会の審議日程の見直し	・効率的な議会運営及び働き方改革推進の観点から、各局の説明聴取を予算・決算特別委員会局別質疑初日にまとめることで、職員の時間外勤務を前提とした質疑時間の配分を解消するとともに、局別質疑最終日から総括質疑初日までの期間を延長し、職員の総括質疑に向けた作業の平準化を図った。

(2) 「見える市会」「伝わる市会」の実現に向けた取組の充実

取組名	実績
政務活動費の運用に関する基本指針等の見直し	・政務活動費の透明性の向上を図るため、人件費及び事務所費に係る説明書の作成・公開や日々の記録の作成・提出を義務付けるなど、政務活動費の運用に関する基本指針等の見直しを行った。
インターネット議会中継における手話通訳の導入	・本会議及び予算・決算特別委員会総括質疑のインターネット議会中継において手話通訳を実施
市会広報ポスターの市バス・地下鉄への掲出期間の延長	・集中審議期間ごとに市バス・地下鉄の車内広告に掲出している市会広報ポスターの掲出開始日をこれまでの議案発送日から 1 週間前倒しし、掲出期間を延長

(単位:千円)

3 市会事務局所管の決算額

(1) 一般会計

ア 歳入

款	予算現額 A	収入済額 B	翌年度繰越額 C	差引 A-B-C
諸 収 入	-	72,182	-	△ 72,182
計	-	72,182	-	△ 72,182

イ 歳出

款項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
議 会 費	602,000	568,317	-	33,683
議 会 費	602,000	568,317	-	33,683

4 市会事務局主要施策の概要

〔当初予算額の下段の括弧書きは、補正予算額、前年度繰越額、流用・移用等の予算の増減額、不用額の下段の括弧書きは、翌年度繰越額で、いずれも外数です。〕

項 目	主 要 施 策 の 概 要	当初予算額(A) (増減額(B))	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	不用額 (F=C-D-E) (翌年度繰越額(E))
		千円	千円	千円	千円
	一般会計合計	602,000	602,000	568,317	33,683
(1 議会運営)		602,000	602,000	568,317	33,683
地方分権に 対応した議会 機能の充実	政務活動費 他都市行政調査, 本会議録・委員会記録作成等 市民に向けた情報発信 市会だより作成・配布 会議録検索システム インターネット動画配信 本会議テレビ中継の実施 市会広報ポスターの作成 など	434,160 89,555 (△ 639) 65,953 (639)	434,160 88,916 66,592	429,120 68,184 61,161	5,040 20,732 5,431
	市会広報の充実 <small>〈政策枠〉</small> インターネット議会中継における手話通訳の導入 市会広報ポスターの市バス・地下鉄掲出期間の延長	6,600	6,600	5,292	1,308

(市会事務局-1)